様式第１号（第１０条関係）

2024 年度業務実績報告書

提出日：2025 年 1 月 17 日

１．職名・氏名　教授　佐々井　司

２．学位　学位　工学修士、専門分野　人口学、授与機関　神戸大学、授与年　1992 年

３．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
②内容・ねらい
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
(2)その他の教育活動
福井県立若狭高等学校「国際・社会探求」講師 国際医療福祉大学「人口問題と政策」講師 名古屋市立大学「社会保障論」講師 放送大学・福井学習センター「ライフコースの人口学」講師

４．研究業績

(1)研究業績の公表

① 著書

◇「人口減少社会・日本のこれから～地域はどう生きるか～」『人口減少に自治体はどう向き合うか』（共）原邦彰・前田正子、地方行政調査会、2024.11.、p47～103.

【１本】

② 学術論文（査読あり）

【　本】

③ その他論文（査読なし）

◇「縮小する東アジア～人口減少時代における生存戦略を考える」『東亜』No688／2024.10.、霞山会、p10-17.
◇「人口減少時代における地方創生～人口動向からみる日本の現状」『EN-ICH FORUM』November 2024、平和政策研究所、p10-15.
◇「主要国における合計特殊出生率および関連指標：1950～2022 年」（共）別府海志『人口問題研究』第 80 巻第 4 号、国立社会保障・人口問題研究所、2024.12.、p535-542.
◇「都道府県別標準化人口動態率：2023 年」（共）別府海志『人口問題研究』第 80 巻第 4 号、国立社会保障・人口問題研究所、2024.12. 、p569-575.
◇「都道府県別にみた女性の年齢（５歳階級）別出生率および合計特殊出生率：2023 年」（共）別府海志『人口問題研究』第 80 巻第 4 号、国立社会保障・人口問題研究所、2024.12.、p576-583.

【５本】

④ 学会発表等

◇「中部地域の人口減少と“東京一極集中”との関連について」『日本人口学会・中部地域部会』南山大学、2024.12.14.

【１件】

⑤ その他の公表実績

◇「外国人材の県内定着に向けた実態調査」報告書、『2023 年度福井県立大学・地域経済研究所 調査研究プロジェクト』2024.3.、pp64
◇地域部会報告「中部地域における人口動向と今後の展望」『人口学研究』第 60 号（第 47 巻第 1 号）、古今書院、2024.9.、p91.
◇「「地方消滅」から 10 年～東京一極集中と地方人口回復の課題を再考する」『世界と日本』2024.11.4.、内外ニュース、p2.
◇「DATA 過去最多の永住者／海を渡る日本人」『Wedge』JANUARY 2025 Vol.37・No1、2024.12.、p32-33.
◇「“海外移住”と少子化に共通する日本の病巣」『POSSE』vol.58、2024.12.、p60-69.

◇「人口減少下における越前市のこれからを展望する」『越前市議会議員研修』越前市役所、2024.1.30.
◇「人口減少社会のなかの外国人～人口動態からみた今とこれからの福井」『福井経済同友会・第２回企画委員会』、福井パレスホテル、2024.10.22.

【７本】

(2)科研費等の競争的資金獲得実績
未来協働プラットフォームふくい推進事業「少子化対策の再構築に向けた基礎的研究」
(3)特許等取得
(4)学会活動等
「日本人口学会・中部地域部会」幹事

５．地域・社会貢献活動

◇越前町「総合振興計画審議会」会長
◇おおい町「未来創生戦略有識者会議」会長
◇おおい町「まちづくり政策コンテスト」審査員
◇福井県「国民健康保険運営協議会」会長
◇NPO 法人「健康長寿の会」顧問
◇まちづくり福井「大学連携調査プロジェクト」委員
◇福井経済同友会「企画委員会・人口減少対策」委員

６．大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
(3)学内行事への参加
(4)その他、自発的活動など